

これまでのご意見を踏まえた対応状況
【山梨県デュアルベースタウン研究会】

令和3年3月10日
山梨県

➤ 「まち」の施策

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> • いろいろな施設を作る、良質なストックを作った上で、手ごろな料金体系で貸す、手頃な不動産を用意 • 地域のために何かをする施設なのか、自分のために何かをする施設なのか整理し、地域ならではの付加価値をつける • 居住と職場が一体か別かは、地域の特性により整理 	ワークスペースの充実	<ul style="list-style-type: none"> • 二拠点居住拠点整備推進事業費補助金（R2.9月補正予算）
<ul style="list-style-type: none"> • 住む場所も働く場所も駅やインター等から近い、アクセスが良いなどが求められる • 都心から地域への円滑な移動方法、地域内での移動手段、最寄りの駅もしくはバス停から施設までの移動手段が必要 	二次交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> • やまなし観光MaaS整備事業費（R2.9月補正予算） • リニア駅前エリア整備検討事業費（R3.当初予算）^⑨
<ul style="list-style-type: none"> • 趣味の世界で接点を持てる場や、地域の人達と交流できる場の提供 • 体験プログラムやアクティビティの充実 • スポーツなどの趣味により人を呼び込む 	多様な体験プログラム・アクティビティの造成	<ul style="list-style-type: none"> • 屋外・自然で楽しむ家族向けアクティビティ開発支援事業費（R2.9月補正予算）

➤ 「ひと」の施策

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> • 地域との交流機会の確保 • 受入れる市町村や地域の人と一緒に育てていく、それぞれの悩みを事業の中で解決していく場が必要 • 地域の人と一緒に、プロジェクトマネジメントできる能力を育てる • ターゲットとなる都市部の人ニーズ把握と、それに応える受け皿作りといったマーケティングの視点が必要 • ふるさと山梨定住機構からの助言があるといい 	<p>地域で移住者等を温かく迎え入れる環境づくりの活動への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 移住コンシェルジュチーム活動促進事業費補助金 (R3.当初予算) • ふるさと山梨定住機構の機能拡充 (R3) ⑨
<ul style="list-style-type: none"> • 地域のために何かをする、自分のために何かするという意識を持った人を呼び込む • 地元に関わりがあり、戻ってきたいという意向がある人を呼び込む • 人材を発掘するにあたり、地域おこし協力隊OB・OG、地域内で話題になっている人、ノウハウを持つ企業等からのアプローチなどがあげられる • 人材の育成には研修会等の受講が必要 • 人材の育成には専門家によるアドバイスや実地指導が必要 • 地域で、事業を起こそうとしている地元の若者や、新しい産業にチャレンジする若者を見つける • 地域に根づいたコア人材の育成が必要 • 都市側のニーズと地域側のニーズをしっかりとコーディネートできる人材の育成 • 地域や自治体のバックアップが必要 	<p>地域のコミュニティの核となる人材の発掘・育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域コア人材育成推進事業費 (R3.当初予算) ⑨

➤ 「しかけ」の施策

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> 地域における仕事についても、しっかりとした情報や環境の提供が必要 	各段階における情報の一元的な提供、充実したサポート・フォローアップの実施	<ul style="list-style-type: none"> やまなし未来創造ポータルサイト（仮称）構築事業費（R2.9月補正予算） 二拠点居住推進センターの設置
<ul style="list-style-type: none"> 県人会や地域にゆかりのある人に対してアプローチ 地域関連企業に対してアプローチ 電車で通勤している人に対してアプローチ SNSや電波、情報誌等による情報発信 地域毎にセールスポイントを整理したPR 理想の環境を自分たちで実施し、その様子をPR モニターツアーやお試し移住の実施 	積極的なプロモーションの展開	<ul style="list-style-type: none"> 二拠点居住プロモーション事業費（R3.当初予算）^新
<ul style="list-style-type: none"> マッチング企業等による掘り起こし ターゲットは、地域の意見を聞きながら、コミュニティやマッチングできる環境を作りながら設定することが効果的 ターゲット例としては、JR中央線や中央自動車道・圏央道沿線の企業や個人、水素・燃料電池関連技術など本県の地域資源を活用する企業や個人、地域特性と都市部のニーズがマッチする企業や個人、テレワークに積極的な大企業やスタートアップ企業、自然環境を生かした就農等希望する集団や個人などがあげられる 	効果的なマッチングのためのニーズの把握、イベントの開催等	<ul style="list-style-type: none"> 二拠点居住企業誘致推進事業費（R2.9月補正予算） 二拠点居住企業誘致マッチング事業費（R3.当初予算）^新
<ul style="list-style-type: none"> 移住に伴うコスト（オフィス・社宅等設置費、設備費、交通費）や会社設立経費の支援 移住者支援金制度の活用 	移動・滞在等に要する経費の支援	<ul style="list-style-type: none"> サテライトオフィス等お試し体験事業費補助金（R3.当初予算）^新
	企業のオフィス・社宅整備等に要する経費の支援	<ul style="list-style-type: none"> 産業集積促進助成金（R3.当初予算）
<ul style="list-style-type: none"> 起業の機会創出、新規事業創出、就農支援など、住んでみた時の生活面の不安を取り除くことが必要 企業による実証実験の支援 スタートアップへの支援 	県内での起業や実証実験の実施に係る経費の支援等	<ul style="list-style-type: none"> やまなし創業チャレンジ応援事業費補助金（R2.11月補正予算） リニアやまなしビジョン実証実験サポート事業費（R3.当初予算）^新

➤ 本県の高付加価値化を図るための主な施策・事業

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> 区域外就学制度、移住者向けの通信教育制度といった教育についての環境整備が重要 オンライン診療、訪問診療、遠隔健康医療相談、薬の自動配達などの遠隔医療の充実も大事 	<p>基盤的な生活環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 少人数教育推進事業費（R3.当初予算）^⑨ やまなし教育環境・介護基盤整備基金事業費（R3.当初予算）^⑨ 遠隔診療等体制整備促進事業費（R2.4月補正予算）